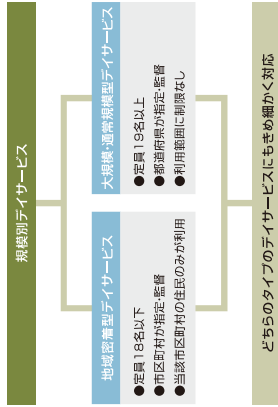


「リハトレナー」を活用した 次世代のリハビリ型サービス創造を支援します

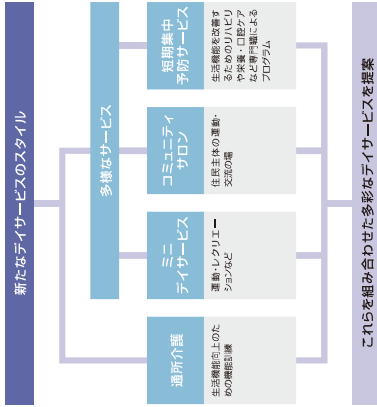
どんな種類のサービス開設にもきめ細かく対応します



小規模なサービス(定員18名以下)は、市区町村が地域包括ケアシステム構築を図る観点から、平成29年4月より市区町村が指定・監督する地域密着型サービスへと移行することになりました。一方、大規模・通常型型サービスの(定員19名以上)は、従来どおり都道府県が指定・監督することとなります。

私たちは「リハトレナー」を核に、地域密着型および大規模・通常型型サービスのどちらにも対応した先進のリハビリ型サービスの創造を支援します。

多様なサービスを提供できる新たなサービスの時代へ



サービスを活用している事業者(介護予防)の新たな切り口として、すべての市区町村が平成29年3月末までに「新しい介護予防・日常生活支援総合事業(併合事業)」を実施することになりました。

これに伴い、サービスは「通所型サービス」としてより効果的・効率的な支援を図るため、今までとあり生活機能の向上のための機能訓練などを実施する通所のサービスのほか、NPOや民生業者が実施するミニサービス、ボラティア主体のコミュニティサロン、短期集中で健康改善や運動器向上を目的に行う行政主導等の短期集中予防サービスなど、多様なサービスが提供できるようになりました。

私たちは「リハトレナー」を核に、「地域密着」をベースとしながら、多様なサービスのビジネススタイルも提案し、高齢者の介護予防に貢献しています。

TOPICS

楽しみながらできる新しいリハビリ方法

脳活性リハビリテーション



足の曲げ伸ばし運動を補助する新たなマシン

BMI(ブレイン・マシン・インターフェース)



運動に電気刺激を与えることにより、マヒのある足の曲げ伸ばし運動を補助する新しいBMI(ブレイン・マシン・インターフェース)です。

脳の血流と神経伝達物質の増加により、脳と筋肉の電気刺激を同期して行うことで、マヒのある足をマシンの力に任せ、コンピュータ制御でハーフウォークの歩行の適切な電気刺激を与えて足の曲げ伸ばしを行います。運動方向を調整により、1-5kgの軽い負荷で曲げ伸ばしができるため、筋力が落ちている人も安全に運動を行うことができます。



元気に暮らせる喜び

介護予防自動筋力トレーニングシステム リハトレナー

RehaTrainer

誰でも、いつでも、簡単に—— 介護予防デジタルサポート



リハトレナー(株)が提供するサービスは、最新のデジタル技術を活用し、高齢者の生活の質を向上させることを目指しています。

■ 営業
〒104-0031 東京都中央区新富1-1-1 新富ビル4F
TEL:03-6228-7981 FAX:03-6228-7982
ホームページ: <http://www.salonoid.jp/>

■ 製造
sica システム・インフラメント
〒192-0031 東京都八王子市利根町7-5-3
TEL:042-646-3555 FAX:042-646-8278
ホームページ: <http://www.sica-ky.com/health/>



©2018 SALONOID CORPORATION



超高齢社会における理想の介護予防を提案し続けます

ますます高まってきた介護予防の重要性

65歳以上の人口が全人口の14%を超えた状態が、いわゆる「高齢社会」です。この高齢化した社会がさらに高齢化し、全人口に占める65歳以上の人口の割合が21%を超えると、「超高齢社会」となります。日本は今、世界で最も早くこうした「超高齢社会」を迎えています。

このままさらに高齢化が進むと、2030年には「超々高齢社会」(65歳以上の人口の割合が全人口の28%超)に突入することが避けられません。それだけに、高齢者の健康(日々の生活における自立能力)をいかに維持するかが、これからの社会の大きなテーマであり、介護予防の重要性がますます高まってくるのは言うまでもありません。

科学的根拠に基づいたプログラムの提供がカギ

介護予防といえばこれまで、身体機能の維持・回復を目的に、トレーニングマシンを使って単に運動させるというのが実情でした。これではフィットネスの延長にすぎず、利用者個々に適した介護予防が実施されているとは言えません。

これからの介護予防で最も重要なのは、科学的根拠に基づいた一般的な共通性のあるプログラムを提供すること。つまり、利用者個々のデータを正確に把握し、それに基づいた最適なプログラムを1人1人に提供しているか否かが大きなポイントとなります。そうした科学的根拠に基づいた質の高いプログラムを提供できるのが、介護予防自動筋力トレーニングシステム「リハトレナー」です。

超高齢社会の介護予防で真価を発揮する「リハトレナー」

マシンを使用した運動トレーニングにおいては、利用者1人1人に最適できちっとした定量的な負荷量が設定されなければなりません。その見極めは、運動指導員の判断に委ねられているのが実情で、厚生労働省の「運動器の機能向上プログラムに関する指針」でも、最適な負荷量決定のための評価が課題とされています。

「リハトレナー」は、東京都健康長寿医療センターが提唱している「包括的高齢者運動トレーニング理論」(Comprehensive Geriatric Training=CGT)に基づいた運動プログラムをコンピュータに内蔵し、科学的根拠に基づいた最適な負荷量の設定を可能としました。つまり、利用者1人1人のトレーニング効果を客観的に測定・評価してデータベース化し、それを基にマシンの設定を自動的にを行います。しかも、個々の運動方針まで把握することができます。こうした科学的根拠となるデータの取得は、さらなる介護予防のベースともなります。

「リハトレナー」は、最小限のスタッフで施設を運営することが可能であり、人件費をはじめとするコストの抑制を図ることができ、経営の効率化につながります。それは、相対的に介護報酬の引き下げに伴う人件費のコストアップの軽減効果をもたらします。しかも、システム価格は5年リースの場合、1か月当たりの負担がパートタイマー1人の1か月分の給与程度にすぎません。

私たちは「リハトレナー」を核に、これからの超高齢社会における理想的な介護予防の在り方を提案し続けます。

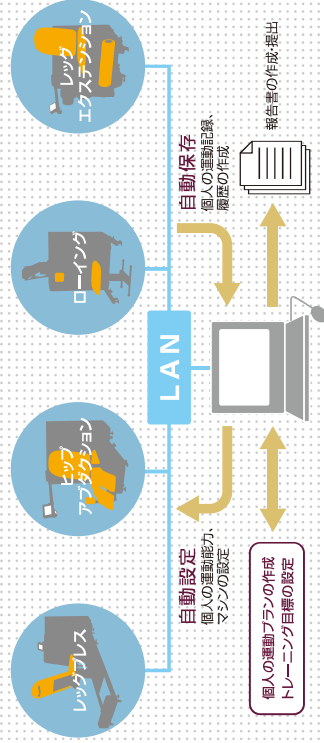
4つのマシンとコンピュータで構成された 先進のトレーニングシステム、それが「リハトレナー」です

利用者1人1人のデータを個別に作成・保存することができます

下肢全体の筋肉を強化する「レッグプレス」、腰まわりの筋肉を強化する「ヒップアダクション」、広背筋・菱形筋を強化する「ローイング」、大腿四頭筋の筋力を強化する「レッグエクステンション」。これら4つのマシンをコンピュータに接続し、利用者個々の運動能力に即したマシンの設定を自動的に行うとともに、1人1人の運動記録や運動履歴を個別に自動保存（データベース化）することができる先進のトレーニングシステム、それが「リハトレナー」です。

このデータベースを基に、利用者1人1人の能力に合わせた運動プランを作成できるほか、リーダーチャート化した報告書を簡単に作成できるも、「リハトレナー」の大きな特長となっています。

「リハトレナー」システム図



■付属品

ノート型パーソナルコンピュータ・カラープリンター・トレーニング管理ソフト・機器接続ケーブル・電源：単相100V 10A

■特許

・定量性のある自動負荷機構・運動物理データの取得・運動判定アルゴリズム

利用者1人1人に最適な負荷を設定することができます

高齢者を対象としたマシンによるトレーニングは、介護予防の有効な手段であることは間違いありません。しかし、トレーニングにおける最適な負荷の見極めは、介護スタッフ（運動指導員）の評価に依存しているケースがほとんどです。つまり、マシンの負荷の設定は、介護スタッフの熟練度によって左右されると言っても過言ではありません。

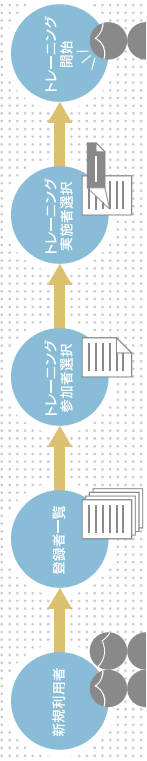
「リハトレナー」は、信頼性の高い「包括的高齢者運動トレーニング理論」(CGT)に基づいた運動プログラムを採用しており、利用者1人1人の身体能力に合わせ、マシンの負荷を500g単位（レッグプレスは1kg単位）で最適に自動調整します。したがって、利用者は無理なく効果的に筋力トレーニングを行うことができ、介護スタッフの負担も大幅に軽減することができます。

利用者の登録からトレーニングへの参加・実施までを簡単に設定・管理できる「トレーニング管理ソフト」

「リハトレナー」の中核をなしているのが、トレーニング管理ソフトです。新規利用者の登録をはじめ、トレーニングに参加する人やトレーニングを実施する人をモニター画面上で選択・登録しながら、トレーニング開始へと導きます。

利用者の新規登録については、氏名・年齢・身長・体重・心拍数・血圧・実施設定（トレーニング内容の初期値）といった基本情報や既往歴などをきめ細かく入力します。ですから、登録した利用者の情報はカルテの役割も果たすこととなります。また、トレーニング参加者を曜日や目的別にグループ化するスケジューリングファイルを作成できることから、参加メンバーの呼び出しがスムーズに行えます。「リハトレナー」が単なるトレーニングマシンにとどまらず、「トレーニングシステム」として認知されているのは、このような優れた機能を搭載しているからにはほかなりません。

【利用者登録からトレーニング開始までの流れ】

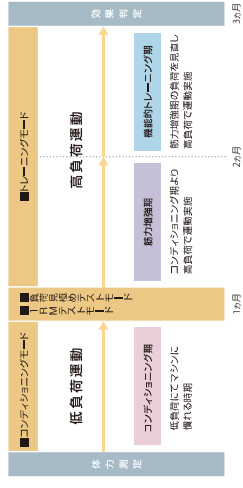


4つのマシンモードにより、効果的・機能的なトレーニングを実現

「リハトレナー」には、以下の4つのマシンモードがあります

- コンディショニングモード
マシンに慣れるため、軽めの負荷でトレーニングを行います
 - 1RMテストモード
最大挙上量を測定し、最適な負荷の見極めとトレーニング効果の判定に活用します
 - 負荷見極めテストモード
トレーニングを行う際の最適な負荷を見極めるためのモードです
 - トレーニングモード
負荷見極めテストで決定した高負荷により、トレーニングを実施します
- これら4つのマシンモードを駆使しながら、コンディショニング期→筋力増強期→機能的トレーニング期へとトレーニングを進めていきます。

【マシンモードとトレーニングの流れ】



目にやさしい安心設計の「リハトレナー」は、 あらゆるデイサービス・デイケア施設に調和します

「リハトレナー」は、マットシルバーとモスイエローを基調としたバステル調のカラーリングとなっております。このため、利用者の目にやさしく、マシン特有の冷たさや威圧感もありません。また、マシンを低く設計しているため、介護スタッフが利用者の様子を十分に見通すことができます。こうした特長を備えた「リハトレナー」は、どんなデイサービス・デイケア施設にもじっくり調和します。

レッグプレス



- 下肢全体の筋肉を強化
- 立ち上がる、歩く、座るなどの基本動作に必要な筋力を向上させます

最大負荷：～63kg (1kg単位設定)



ヒップアブダクション



- 中殿筋(腰まわりの筋肉)を強化
- 歩行時の安定性向上、ふらつき防止

最大負荷：～31.5kg (0.5kg単位設定)



ローイング



- 広背筋・菱形筋の強化
- 猫背防止、肩可動範囲を柔軟にさせます

最大負荷：～31.5kg (0.5kg単位設定)



レッグエクステンション



- 大腿四頭筋(太もも前面)の筋力強化
- 階段昇降の安定性、歩幅の広げなどを向上させます

最大負荷：～31.5kg (0.5kg単位設定)



【リハトレナーの製品構成】 下記のバーコードで各製品の動向がご覧いただけます

■ レッグプレス



● 幅 905mm
● 奥行 2145mm
● 高さ 1142mm
● 重量 320kg



■ ヒップアブダクション



● 幅 906mm
● 奥行 1743mm
● 高さ 1002mm
● 重量 260kg



■ ローイング



● 幅 930mm
● 奥行 1570mm
● 高さ 1434mm
● 重量 200kg



■ レッグエクステンション



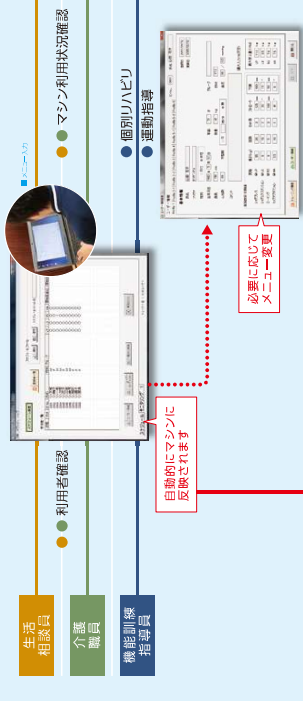
● 幅 1181mm
● 奥行 1822mm
● 高さ 1080mm
● 重量 260kg



「リハトレナー」を核とした リハビリ型サービスの次世代モデル

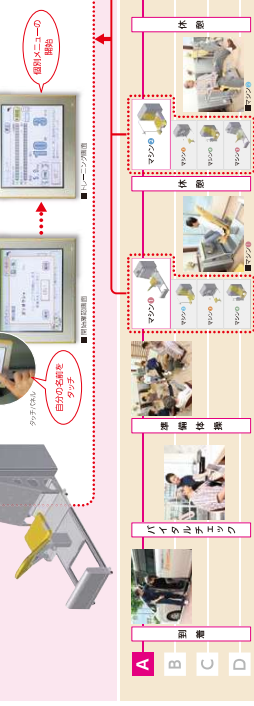
今、「リハトレナー」を導入して機能訓練に特化したリハビリ型サービスの全国に展開されています。「リハトレナー」を中心とした機能訓練に加え、個別リハビリプログラムや視・聴覚・触覚を活性化するトレーニングなどを朝・午前・午後・入浴後の時間別サービスとその代表的なモデルです。パーソナルデータを元に利用者毎の運動メニューが自動的に設定・記録・保存されるため、介護スタッフの負担が大幅に軽減され、生活相談員、機能訓練指導員、介護職員の名簿で10～15名の利用者をケアすることができます。現場スタッフの負担に応じ、生活相談員、生活指導員は事務作業やケアマネジャーとの打ち合わせ、機能訓練指導員は個別に正しい運動指導や指導、介護職員は利用者とのコミュニケーションに時間を割くことも可能です。「リハトレナー」だからこそできる「新しいカタチのサービス」を展開します。

介護スタッフ（生活相談員・介護職員・機能訓練指導員）の三者で利用者ケア



システム操作の流れ

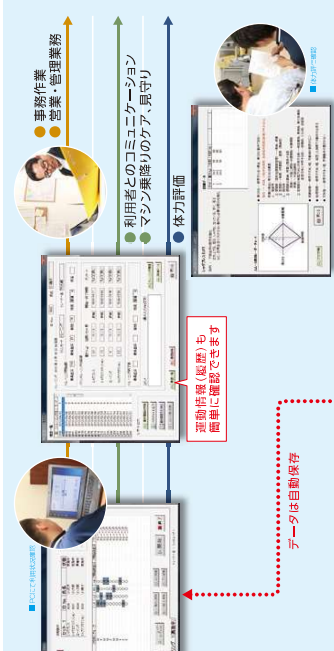
■利用者
利用者は10～15名まで可能



ご利用時間 ▶ 午前 9:00～ 午後 14:00～



本人の興味・関心に応じて利用します。本人の興味・関心に応じて利用します。本人の興味・関心に応じて利用します。



12:00～ 17:00

「リハトレナー」は、利用者のもとより、介護スタッフ、施設経営者にもさまざまなメリットをもたらします

利用者にとってのメリット



- 身体的対応
自分の身体機能に適したトレーニングをすることができます
- 容易なデータ確認
最新の運動記録や履歴、機能評価を容易に確認することができます
- 楽感による効果
リーダーチャーター化した豊富なメニューにより、トレーニングの効果を実感することができます
- 心のケアも期待
運動機能的維持・回復だけでなく、トレーニングに対する積極性や継続性といった心のケアも期待できます

介護スタッフにとってのメリット



- 作業員の経路
経交換や運動記録作業の自動化により、現場でのスタッフの負担が大幅に軽減され、その分、営業活動や事務処理などに時間を割くことができます
- コミュニケーションの増大
現場での負担軽減により、利用者とのコミュニケーション機会が増大します
- 管理・運営の効率化
利用者個々の運動記録などがデータベース化できるため、効率的に管理・運営ができます
- ケアマネジャーとの連携強化
トレーニング履歴が簡単に分かるため、ケアマネジャーとのケアプランやスケジュール確認がしやすくなり、連携強化が図れます

施設経営者にとってのメリット



- 信頼性向上
科学的根拠に基づいたプログラムの導入により、施設の情報性とイメージアップを図ることからできます
- 経営合理化
最小限のスタッフで運営できるため、経営の合理化が図れます
- 受給・請求の簡便化
介護保険の受給や請求の簡便化を実現することができます
- データの連携化・共有化
正確で信頼性のある運動データを記録・保存できるため、施設の施設を顕微鏡してもデータの標準化が図れ、共有化することができます